



食材管理アプリケーション

**FoodBox**



- ◆ 何のためのアプリ？
- ◆ FoodBoxができること
- ◆ 技術選定とデモ
- ◆ 心がけたこと
- ◆ 感想と今後について





# ◆ 何のためのアプリ？

## — 制作背景

仕事帰りに買い物へ行き、今夜の夕食の材料を選びます。

家の冷蔵庫の中身が曖昧だけど、とりあえず必要なものを買った結果.....。



# ◆ 何のためのアプリ？

## — 制作背景

卵が2パックに！

さらには賞味期限切れ間近の、使う予定のない食材が！

.....無駄な買い物をしてしまったたり、賞味期限切れの食材を使わないレシピを考えていたり、かなり勿体無いですよね？

一人暮らしをしていて、こういった経験がたくさんありました。



# ◆ 何のためのアプリ？

## — 制作目的

FoodBoxはこのような経験がある方、特に一人暮らしの社会人をターゲットに、食材をできるだけ楽に管理できることを目指して制作しました。

このアプリを使えば、うっかり余計なものを買うことも無くなり、賞味期限切れの食材を無駄なく使うことができるようになります！



# ◆ FoodBoxが**できること**

## — 食材管理

登録された食材を賞味期限順に表示することで、優先的に使ったほうが良い食材が一目で分かります！

## — レシピ表示

楽天APIを活用し、賞味期限が迫っている食材を使用するレシピを表示することで、無駄なく・悩むことなく、夕飯のレシピを組み立てることができます。

人気のレシピも表示するので、献立に悩んだ時にも役立ちます！

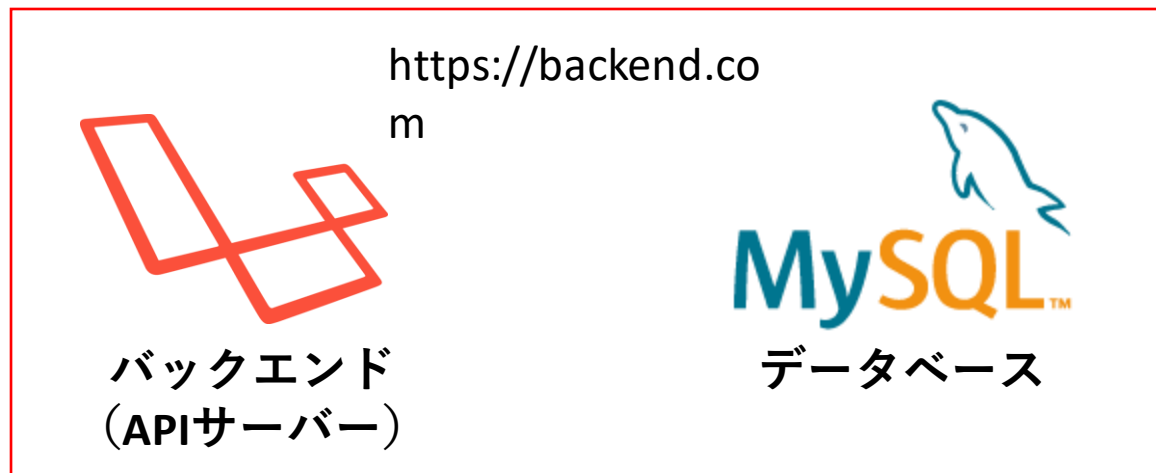
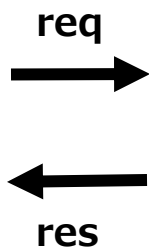
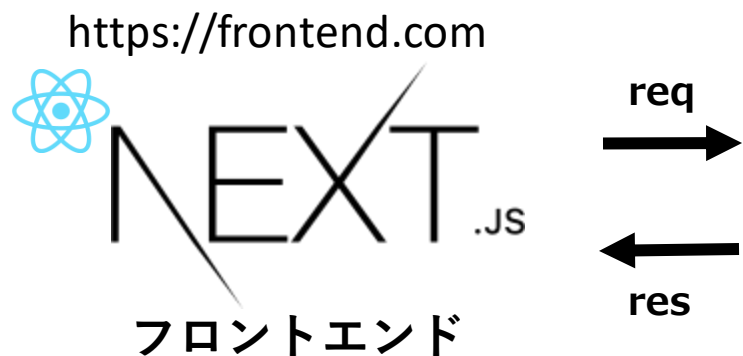
# ◆ 技術選定とデモ

## — CSR(SPA)の実現

買ってきた食材を登録するのは、きっと面倒な作業です。  
そのため、実用を考えるなら高速で快適な操作感が必要でした。

そこで、フロントエンドにNext.jsを活用し、登録などの操作や画面遷移を高速化することにしました。

## — 構成イメージ





## ◆ 技術選定とデモ

実際にアプリを動かしてみます





# ◆ 心がけたこと

## ■ 技術面

新たな技術として、興味から独学で学んでいたNext.js(React)を活用してフロントエンドを構築すること。

また、バックエンドのLaravelではAPIサーバーとしての構築や、インジェクション、RestAPI化などを取り入れ、できるだけ『研修でやらなかったこと』に挑戦することにしました。

## ■ ユーザー視点の開発

技術選定でも少し触れましたが、CSRでの高速な操作感の実現やシンプルなUIの設計など、ユーザー体験の向上を狙いました。

# ◆ 感想と今後について

## — 今後について

フロントエンドとバックエンドが疎結合なアプリケーションを構築したので、また新たなフレームワークやライブラリ、MySQL以外のDBなどを使って実装し直してみたいと考えています。

今回本当はフロントエンドをTypeScriptで実装したかったのですが、学習が間に合わず諦めてしまったので、それについても今後挑戦してみようと思います。



# ◆ 感想と今後について

## — 感想

新たな技術に挑戦してみた感想として、**PHP**の研修を進めてきたおかげで、他言語でも何とかエラーを解決しながら、実装できるようになった実感がありました。

それと同時に、知らない技術が多くあることにも気付かされたので、今後も学習を続けていきたいと思います。

